

全校目標 『GROW UP!』 ~みんなとそだてるココカラの木

まとめ

3年間のココカラPTも今年度で終了します。(ココカラ学習は続きます)これまで、保護者の皆様にはアンケートへのご協力をはじめ、夏には性に関する講演会をPTAと共同開催させていただくなど、ご協力ありがとうございました。ココカラ学習は全校での取り組みとして来年度も引き続き行いますが、この3年間の取り組みについて、各部の担当より全3回で報告したいと思います。今回は小学部の報告です。



小学部

<1年生>

学校での基本的な生活習慣を学んできました。1日の学校生活の流れや、排泄、給水、食事などの場面で一つずつ丁寧に取り組んでいきました。入学当初は、新しい環境での活動に慣れない様子も見られましたが、じっくりと取り組んでいくことで安定して学校生活を過ごすことができるようになってきています。

1年生では、手洗い、マスク着用、消毒などにも毎日継続して取り組みました。年間を通じて取り組んだことで、マスク着用や場面ごとの手洗いに意識できる児童が増えてきたように感じています。1年生からしっかりと自分でできる基本的な生活習慣を定着させていくことで、自分を守る方がついていくのではないかと思います。今後も継続して健康に過ごせるようになっていってほしいと思います。



また、各教科や自立活動の中でも、「約束を守ること」や「友だち(教員)との関わりかた」などのココカラ学習の基礎となる取り組みを行ってきました。自分のこと、人のこと、これから関わりが広がっていく中で心と身体の学習を進めていってほしいと思います。



<2年生>

特に手洗い、マスク着用、消毒など毎日継続して取り組みました。道徳の授業で感染症についてもタブレットを使って話をし、自分を守る為に必要な事として取り組みました。最初は、マスクをつけるのを嫌がっていた児童も教員の言葉かけや友達からの言葉を聞いて、まずはマスクを耳にかけることから頑張りました。今では、マスクをつける感覚に慣れてきて、自分からつける姿が多く見られるようになり、継続して続けることの大事さを実感しました。

2学期の途中からは、自立活動の時間で、男の子、女の子に分かれて、カーテン内で着替えることに取り組みました。体も徐々に大きくなってきて、男女の意識も少しずつ出てきた為です。カーテン内で着替えることを少し不安に思っている児童もいれば、限られた空間の中に入ることによって集中して着替えられる児童もいました。2名ずつ順番に入って着替えているのですが、順番を待つことや、待っている友達の為に早く着替えることを意識して白々取り組んでいます。



各教科等でも、「約束事を守る」や「物を丁寧に扱う」「ポディーイメージを高める」等、ココカラに関する勉強に取り組みました。

<3年生>

年間を通して「教室のカーテンの中で着替えること」に取り組みました。高学年に向けて「恥ずかしい」という意識を育む為に「男の子は男の子と、女の子は女の子と着替えること」を行いました。4月当初は、カーテンの中になかなか入れなかったり、中に入る前に服を脱いで着替えようとしたりする児童が多くいました。また、友だちの着替えが終わっていないことに気づかずにカーテンを開けようとする児童もいました。初めはこのような感じのスタートでしたが、教員と一緒にカーテンの中での着替えに取り組んだり、入る前に「入っていいですか?」「いいですよ!」といった言葉かけのやりとりをする中で、少しずつできることが増えてきました。

各教科等でも、清潔に関わる「身だしなみ」、自分を知る「乗り越えようとする姿勢(やってみよう)」、人と関わる「約束・ルール」などに関する事。また、手洗い、うがい、マスクの着用、手指消毒もできるように取り組むことで、自分と相手を大切にすることを育ててきました。

「じぶんも ともだちも たいせつだ!」「それ、だいじょうぶ?」「いやなタッチはダメ」のテーマで実施された3回のココカラウィークでも、それぞれのテーマを児童の実態に合わせて取り組みました。「いやなタッチはダメ!」では、学校生活の中でよく自にすることの中からテーマに合うことを選んで教員がわかりやすく実演しました。実演中のやりとりでは、児童からの「それはダメ!」の声を聴くことができました。



これからも、児童がしっかりとココ(心)カラ(身体)の根を育てることができるように継続して学習してほしいと思います。

<4年生>

日常生活指導の中で、友だちとの距離感について意識できるように、新型コロナウイルス感染症とも関連させながら日々取り組みました。友だちとの距離感については、距離が近すぎる時に「近いよ」「離れてね」など言葉かけをしていくことで、児童同士の中でも「離れて離れて」など声をかけあったり、教員の言葉かけで友だちとの距離感について気をつけようとしたりする姿も見られるようになりました。



また、授業の中ではプール学習と関連させながら「プライベートゾーン」についても学習しました。プライベートゾーンに関わる簡単なO×クイズを交えながら、楽しく学習していく中で、今までの経験を思い出しながらプライベートゾーンについて考えることができました。

来年は初めての泊行事が予定されています。自分でできることを増やし、人との適切な距離感を身につけて楽しい泊行事にしたいと思います。

<5年生>

初めての泊行事を目標に、お風呂の入り方、体を清潔にすることの大切さを学習しました。また、顔の洗い方、プールでの着替え方等も練習しました。特に、プールやお風呂での着替えの場面では、体をタオルで隠しながら着替える練習なども意識して取り組みました。行事が近くなると、学校のADL室を利用して実際にお風呂に入る学習を行いました。実際に行ったことで子どもたちも意欲的に取り組んでいました。



来年は、修学旅行も予定されています。引き続き、自分で体を清潔にする事や人前で着替える時のマナーなどを学んでいってほしいです。

<6年生>

4月からマスクの着用、手洗いうがいの大切さを学んできました。修学旅行では、様々な施設への入場の際に感染予防の協力依頼があるため、マスクが苦手な児童へもより一層、マスク着用の重要性を伝えながら学んできました。また、身だしなみや食事方法の「良い例と悪い例」を比べながらO×クイズで学びました。他にも、男女別に分かれての学習にも取り組みました。

男の子は「友だちとの距離感」や「いいタッチわるいタッチ」「男の子の身体の変化」「プライベートゾーン」について学習しました。

女の子は「プライベートゾーン」「女の子の心と身体の変化」、「生理用品の使用手法と処理の仕方」を学習しました。

「いいタッチわるいタッチ」「プライベートゾーン」の学習時には、「良い」「悪い」等を正しく理解している児童が多かったのですが、実際の学校生活では、その場面になると、中々学びを生かすことができない事もありました。来年は中学部になります。

授業だけでなく普段の学校生活での取り組みや、学習活動に合わせて家庭の協力を得ながら、学びを継続させ、実際の場面でも対応できるようになってほしいです。

